


# 鹿児島県侵略的外来種カルテ

平成29年3月

ネズミの駆除、ペットとして飼育されていたものが遺棄されて野生化しました。鹿児島県では重要防除種に指定され、奄美大島、徳之島をはじめ、県内各地で生息していると考えられています。在来小動物を捕食・捕殺し、特に島嶼では希少種・固有種へ大きな被害がでています。ノネコを増やさないために、飼い猫は適正に管理しましょう。

## 1 基本情報

### 分類

目・科名	ネコ目ネコ科	
種名(亜種名)	ノネコ	
学名	<i>Felis catus</i>	
環境省カテゴリー	緊急対策外来種	
県カテゴリー	重要防除種	
由来	国外由来外来種	
侵略的外来種番付表	横綱(島嶼)	
番付表掲載の理由	知名度の高い外来種	
その他カテゴリー (日本生態学会ワースト100/IUCN 世界の侵略的外来種ワースト100)	世界の侵略的外来種ワースト100 日本の侵略的外来種ワースト100	
侵入・定着の状況		
自然分布域	原種は中東～北アフリカに分布するリビアヤマネコ <i>Felis silvestris lybica</i> と考えられている。家畜種で、家畜化はエジプトで約6000年前に行われたとされている。	
県内初報告	不明	
県内への侵入の経緯	ネズミの駆除、ペットとして飼育されていたものが遺棄されて野生化した	
県内の侵入分布	県内各地(奄美大島、徳之島)	
全国の侵入分布	島嶼を含めほぼ全国	
生態学的特性		
生態	食性は肉食で、小型ほ乳類、鳥類、は虫類、両生類、昆虫類を捕食する。 単独性で排他的な、なわばりを持つ。	
形態	体重オス3～6kg、メス2.5～4.5kg。飼い猫と見た目は同じであり、体の色や模様は様々なタイプがある。	
繁殖形態	発情期は年に2～3回。5～9ヶ月齢で繁殖可能になる。産子数は平均4～5頭程度、最大9頭。メス一頭あたり、生涯に50～150頭出産可能。	
生息環境	人間の生活に依存しない場所で、主に森林に生息する。	
特記事項	ノネコ :人間の生活に依存せず、自然環境下で完全に野生化しているネコ ノラネコ: 特定の飼い主を持たないが、何らかの形で人間の生活に依存しているネコ	

	<a href="https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10220.html">https://www.nies.go.jp/biodiversity/invasive/DB/detail/10220.html</a> <a href="http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/GGG5GGGMGSPEGGGAGG2GZ">http://www.kagoshima-nature.org/category/back-number/GGG5GGGMGSPEGGGAGG2GZ</a> <a href="http://www.ufugi-yambaru.com/torikumi/gairai_noinu.html">http://www.ufugi-yambaru.com/torikumi/gairai_noinu.html</a> <a href="http://amamishimbun.co.jp/index.php?QBlog-20150622-2">http://amamishimbun.co.jp/index.php?QBlog-20150622-2</a> <a href="http://ogasawara-info.jp/sizenwomamorutorikumi/gutaitekiniha.html">http://ogasawara-info.jp/sizenwomamorutorikumi/gutaitekiniha.html</a> <a href="http://kankyo.rdc.kagoshima-u.ac.jp/?p=5138">http://kankyo.rdc.kagoshima-u.ac.jp/?p=5138</a>